

大館市教育委員会会議録

日 時 令和5年9月27日（水）
午後3時30分
場 所 大館市立中央公民館
多目的室

大 館 市 教 育 委 員 会

大館市教育委員会会議録

1	開会の日時 及び場所	日時 場所	令和5年9月27日(水) 大館市立中央公民館	午後3時30分 多目的室
2	出席委員の氏名			
	教育長職務代理者	山田和人	委員	工藤啓子
	委員	根田穂美子	委員	小笠原正卓
3	欠席委員の氏名			
4	委員以外の出席者職氏名	(なし)		
5	出席した職員の職氏名			
	教育長	高橋善之	学校教育課長補佐	工藤貴胤
	教育次長	成田浩司	学校教育課長補佐	北林香子
	教育監	長岐公二	教育研究所副主幹	山本多鶴子
	教育総務課長	小松原功秀	生涯学習課長補佐	羽沢秀則
	学校教育課長	鈴木明	中央公民館長	外館志
	教育研究所長	米澤貴子	歴史文化課長補佐	篠村朋子
	生涯学習課長	糸屋みさえ	教育総務課総務係長	柳谷真希
	歴史文化課長	小松工		
	教育総務課長補佐	宮崎史人		
6	会議録署名委員	教育長・山田委員		
7	会議書記	教育総務課 総務係長 柳谷 真希		
8	教育長報告			
	(1)	令和4年度大館市民文化会館の指定管理者業務に関する評価について		
	(2)	令和4年度大館市立図書館サービスに関する評価について		
9	議事			
10	その他			
	口頭報告	教員用タブレットの件について(学校教育課)		
	当日配付	事故報告7月～9月分		
	当日配付	大館市立城南小学校ICTを活用した授業改善支援事業授業研究協議会		
次回 10月30日(月) 大館市役所本庁舎 会議室101・102				

教育長が教育委員会に報告する事項

令和5年9月27日

担当課（生涯学習課）

報告事項	報告内容																					
<p>(1) 令和4年度大館市民文化会館の指定管理者業務に関する評価について</p>	<p>大館市民文化会館指定管理者基本協定書第14条に基づき、令和4年度大館市民文化会館の管理運営状況について、評価を行いました。</p> <p><u>1. 評価方法</u> 指定管理者から提出された「個別業務評価書」の内容、実施状況等について、実地検査及び関係職員からのヒアリングを実施し、総合的な評価をしました。</p> <p><u>2. 評価項目（個別業務評価）</u> (1) 施設設備及び設備を市民等に提供する業務（23項目） (2) 使用許可等に関する業務（5項目） (3) 利用料金に関する業務（12項目） (4) 施設の維持、保全に関する業務（34項目） (5) 自主事業に関する業務（9項目） (6) 市との連携に関する業務（9項目）</p> <p><u>3. 評価基準</u> a・A 協定書、要求水準を大幅に上回る成果 b・B 概ね協定書、要求水準どおりの成果 c・C 協定書、要求水準を下回り努力を要する d・D 重大な不適切な事項があり改善を要する</p> <p><u>4. 評価</u></p> <table border="1" data-bbox="579 1308 1417 1653"> <thead> <tr> <th></th> <th>指定管理者自己評価</th> <th>教育委員会評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)</td> <td>全てb</td> <td>全てB</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>全てb</td> <td>全てB</td> </tr> <tr> <td>(3)</td> <td>全てb</td> <td>全てB</td> </tr> <tr> <td>(4)</td> <td>全てb</td> <td>全てB</td> </tr> <tr> <td>(5)</td> <td>全てb</td> <td>全てB</td> </tr> <tr> <td>(6)</td> <td>全てb</td> <td>全てB</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>5. 総合評価 「B」</u> 9月20日付けで指定管理者である（一財）大館市文教振興事業団へ通知。評価結果は、ほくしか鹿鳴ホールホームページで公表します。</p> <p><u>6. 総括</u> コロナ禍の状況の中で、令和4年度の施設利用者は前年度と比較し、4,735人増の61,714人、利用件数も174件増の1,239件となった。今後とも新たな取り組みを模索し、音楽や演劇など様々な事業を可能な限り実施してほしい。</p>		指定管理者自己評価	教育委員会評価	(1)	全てb	全てB	(2)	全てb	全てB	(3)	全てb	全てB	(4)	全てb	全てB	(5)	全てb	全てB	(6)	全てb	全てB
	指定管理者自己評価	教育委員会評価																				
(1)	全てb	全てB																				
(2)	全てb	全てB																				
(3)	全てb	全てB																				
(4)	全てb	全てB																				
(5)	全てb	全てB																				
(6)	全てb	全てB																				

教育長が教育委員会に報告する事項

令和5年9月27日

担当課（生涯学習課）

報告事項	報告内容															
<p>(2) 令和4年度大館市立図書館サービスに関する評価について</p>	<p>大館市立図書館指定管理者基本協定書第16条及び図書館評価事務処理要領に基づき、令和4年度大館市立図書館サービスに関する自己評価書について、図書館協議会へその妥当性について諮問し、同協議会からの答申に基づき総合的な評価を行いました。</p> <p>1. 評価項目 (1) 運営全般に関する事項 (9項目) (2) 基本的サービスに関する事項 (4項目) (3) サービスの充実及び向上に関する事項 (7項目) (4) 利用者満足度 (4館ごと3指標)</p> <p>2. 評価基準 S 計画等を大幅に上回る成果 A 計画等を上回る成果 B 概ね計画等どおりの成果 C 計画等を下回り努力を要する D サービスそのものに問題が認められ改善を要する</p> <p>3. 評価</p> <table border="1" data-bbox="598 1189 1382 1581"> <thead> <tr> <th></th> <th>図書館自己評価</th> <th>図書館協議会評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)</td> <td>1項目A、8項目B</td> <td>すべての項目B</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>3項目B、1項目C</td> <td>すべての項目B</td> </tr> <tr> <td>(3)</td> <td>2項目A、4項目B、1項目C</td> <td>すべての項目B</td> </tr> <tr> <td>(4)</td> <td>栗盛: 1指標A、2指標B 花矢: 3指標すべてA 比内: 2指標A、1指標B 田代: 2指標A、1指標B</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 総合評価 「B」</p> <p>6月21日付けで指定管理者である(一財)大館市文教振興事業団へ通知しました。また、評価結果は、図書館ホームページで公表します。</p> <p>5. 総括</p> <p>運営全般において、コロナ禍における原油価格等の高騰で光熱費にも大きな影響を与える中、利用者サービスの質は落とさず、職員による徹底した経費節減に努めている。また、図書館来館者数及び利用者数にも影響が出ている一方、一人当たりの貸出冊数は昨年並みであり、各館の効率的な選書方針により、適切に運営されている。</p>		図書館自己評価	図書館協議会評価	(1)	1項目A、8項目B	すべての項目B	(2)	3項目B、1項目C	すべての項目B	(3)	2項目A、4項目B、1項目C	すべての項目B	(4)	栗盛: 1指標A、2指標B 花矢: 3指標すべてA 比内: 2指標A、1指標B 田代: 2指標A、1指標B	
	図書館自己評価	図書館協議会評価														
(1)	1項目A、8項目B	すべての項目B														
(2)	3項目B、1項目C	すべての項目B														
(3)	2項目A、4項目B、1項目C	すべての項目B														
(4)	栗盛: 1指標A、2指標B 花矢: 3指標すべてA 比内: 2指標A、1指標B 田代: 2指標A、1指標B															

議 事 の 経 過	
開会 午後3時30分	
教育長	<p>ただ今より教育委員会会議を始めます。 会議録署名委員については、私と山田委員にお願いします。</p> <p>会議録についていかがだったでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声あり)</p> <p>それでは、承認とさせていただきます。 では、4の教育長の報告事項をお願いします。</p> <p>(「(1)令和4年度大館市民文化会館の指定管理者業務に関する評価について」 「(2)令和4年度大館市立図書館サービスに関する評価について」を、資料により報告)</p>
教育長	<p>ご意見、ご質問はございませんか。</p>
委員	<p>(2)について、質は落とさずに、職員による徹底した経費削減に努めているということを本当に努力なさってくださいと、とてもありがたいことだなと思います。図書館協議会の方ではB評価で、図書館の自己評価が(2)のところはC評価なのですが、この「C」というのはちなみに、協議会の方では「B」なのですが、この「C」は、内容としてはどのような内容なのでしょうか。</p>
生涯学習課長	<p>「C」評価とついている(2)の「基本的サービスに関する事項」につきましては、貸出し冊数のところでの自己評価として「C」というふうになっておりました。あと、(3)の「サービスの充実及び向上に関する事項」につきましては、相互貸借サービスのところでの評価が91パーセント程度であったというところで、175件の減となったというのが「C」評価になった理由となっております。協議会の方といたしましては、まず評価基準Bの範囲内であるということで、「B」評価となっております。</p>
教育長	<p>「相互貸借サービス」とは何ですか。</p>
生涯学習課長	<p>図書館同士での資料の要望だとか本の情報だとか、図書館同士でのやりとりを指しております。</p> <p>「相互貸借」というのは、他の図書館との間での貸借サービス事業のことを指しております。</p>

委員	協議会では、その範囲内であれば特に問題ないということでしょうか。
生涯学習課長	そうですね。「B」評価が90パーセント以上105パーセントまでとじておりますので、まず91パーセントということで、「B」の評価基準内としておりました。
委員	この細かい項目についてどんな内容があるかというのは、このホームページの公表されている内容にあるものなののでしょうか。今の「C」項目が何だったのかなとかそういうことを知りたくなかったときに、資料があるのかなと。個別に知りたければ、伺えばいいということですね。わかりました。
教育長	確かにそこにあれば調べられるのですが、全部「B」であればまだ違いますが「A」や「C」が出ている場合は、やはりそれが何であるのかという情報すべてを委員の方々にお知らせした方がいいと思います。
委員	今のことに関連して、先ほど自己評価では「C」だったけど協議会の方では「B」という、その基準が90パーセント前後との話だったのですが、自己評価の基準とその協議会の外からの評価の基準は同じであるべきなのではないのかなと思ったのですが、自己評価もやはり何かの基準をとって厳しい評価をすると思うので、その辺の基準を整合した方がいいのかなと思います。
教育長	数値的な基準があるとすれば一致していなければならないはずで、その辺についてはどうなっているのですか。
生涯学習課長	評価基準については知らせてはいますので、図書館の方での基準が厳しくなってきたということなのかなと考えます。評価基準としては、同じものを出しています。
委員	<p>同じものを出していても、やはり自己評価になると厳しくなって、それを協議会の方では、客観的に「B」でいいのではないかといった感じなのでしょうか。</p> <p>やはり、教育長さんが話されたように「B」、「C」といった詳細は書かれていなくて、委員も話しておりましたが、その詳細を知りたいという気持ちは、私もあります。</p> <p>ただ、去年は確か「C」はなかったような記憶があります。今年は「C」があるなと思って見たような記憶があります。私の記憶が定かではないのですが、去年はそれほど気にはならなかったような気がしたのです。今年は「C」があって、少し気になりました。</p>
生涯学習課長	来年度につきましては、評価についてもう少し詳細に報告できるようにしたいと思います。

教育次長	<p>今、図書館のホームページを見ていますが、評価シートは委員が求めているぐらいの内容のシートは掲載していますので、そちらでご確認できると 思います。</p> <p>今年のもはまだ出ていないと思います。去年は、「A」と「B」だけです。</p>
委員	私もそう記憶していました。もう少しすると今年度のもも掲載されますね。
教育長	それでは、報告はここで終わらせていただきます。続きまして、議事はありませんので、「その他」に入ります。
学校教育課長	(「教員用タブレットの件について」口頭説明)
委員	ありがとうございます。こんなにかかるとは思いませんでした。
学校教育課長	小学校から中学校だと入っているソフトというか中身がちょっと違うるので、直したりといったこともあると思います。
教育長	小学校同士だったら、基本的には同じですか。
学校教育課長	やはり、学校ごとでもある程度の内容の変更はあるみたいです。
教育総務課長	結局、「eライブラリアドバンス」やその学校に合わせてネット環境を整えるにも、ただ置くだけではできないので、それをセットアップしないといけないのです。中のソフトももちろん替えなければならないし、設置していた学校が変われば、学校にある端末Wi-Fiをつかまえるためのセットアップの仕方、それから暗証番号入れ直して、それ用に使用するという作業をすると、1台当たりの作業時間が何時間もかかるのです。その手数料が業者では欲しいということだったわけです。
委員	ちなみに、今回全職員に渡るようにセットすると、来年度以降はそんなにお金がかからないということですか。
学校教育課長	来年度以降も学校ごとに児童生徒数は変わります。現在の予備台数も含めまして、用意はしてあります。先生はそんなに変わらないと思いますが、生徒の異動というか、多い少ない、また、学校間の異動もありますので、その点は同じようにかかると思います。

委員	<p>民間企業すべてだと思うのですが、パソコンを導入していて、何か設定が変わるのに1台12,000円というのは、ちょっと僕らでやっていけないというのが率直な意見です。ということからも、その業者さんとの交渉も何か必要なのかなと思うのですが、これからも多分、このGIGAスクールの事業が続いて、あの端末があるところでまた更新されていくとなると、今、教育総務課長がおっしゃったように、アプリだったりネットワークだったり、ネットワークの機械も老朽化してきてまた変わったりとなると、その度にその更新手数料がかかってしまうとなると、なかなか大変なものかなと思います。なので、その辺も今から業者さんとの交渉なり、予算がつくのであればあらかじめそれを見積もっておくなりしておかないといけないのかなと危機感を覚えました。</p> <p>あと、電子黒板専用に使いたいとか新任さんに使いたい以外で、いわゆる教職員の教員の先生方が専門で持てる数を確保できるのか確認をさせていただきます。</p>
学校教育課長	<p>「専門で持てる」というのは、先生が1台ずっと使えるということであれば、そうです。</p>
委員	<p>ほかの市町村ではどのようなものなのでしょうか。同じような悩みを抱えているものですか。それとも何か違う方向性があるものなのか、どうなのでしょう。</p>
学校教育課長	<p>近隣の鹿角市や北秋田市の状況でしょうか。児童生徒1人1台はもちろん配付されていると思いますが、先生方の分につきましては、実際に足りているかどうかというのは調べていないのでわかりません。</p>
委員	<p>1台当たりアップしたりいろいろやってもらう、その手続きというか業者さんをお願いしなければいけないのですが、例えば北秋田市さんではどこに頼んでいるのか、その業者さんへの更新手数料とかいろいろなもの、他の市町村での業者さんとのやり取りとか取り引きとか、またどのようなものでどのくらいかかっているものなのか、大館市とそれほど大差ないもののかなど、おわかりでしょうか。</p>
教育次長	<p>業者との契約額は、それぞれの自治体では公表しないです。やはりそこは競争ですし、価格交渉も当然しながら一律ではないので、ちょっと他市に情報を流すというのはなかなかないものですから、情報としては入ってきていないです。</p>
委員	<p>もし、他市町村ではどのような料金をかけているのかというのがわかれば、料金について業者に対してもう少し下げられないかといった交渉もできないものかなと思ったりしました。</p> <p>民間では見積もりを取るということをやるのでしょうけど、学校関係や市</p>

	<p>役所関係では難しいですね。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>1つだけ、導入時のお話をさせてください。</p> <p>G I G Aスクールが始まったとき、一斉に各自治体が同じように数千台入れなければならないということでお互いに近郊の市町村で情報交換は盛んにやっておりました。ただ、先ほど次長が話されたとおり各自治体ごとに手持ちのカードは出さないのです。ただ一つだけ言えるのは、県北に当たっては、大きなコンピューター会社さんは1社しかありませんし、それ以外を入れるとなると非常に困難だということも事実です。なので、ここでお答えすることはできないのですがさらに横情報も結構入ってきているので、あくまでも一般論ですが、他の自治体も大差ないような状況ではないかなと思います。これは根拠のない話で申し訳ないのですが、同じような交渉しているはずなので。</p>
<p>教育長</p>	<p>セットアップぐらいであれば、業者ではなくICT支援員とかそういう人たちでもできるのかなと。例えば、由利本荘市は県立大学の学生たちをICT支援員としてアルバイトのように雇っていて、そういう人たちのレベル、技量があれば業務の一環としてやれるのかなということも考えたりしています。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>学校内での、例えば小学校では6年生が、中学校では3年生が卒業して次の新1年生に引き継ぐ、卒業してそのときに、その最終学年の子どもたちが自分たちで使っていたタブレットの内容を全部削除するとかそういったことができるようにマニュアルを作ってくださいまして、それを各学校に配って、2月頃に皆さんで頑張って6年生、中学校3年生で個人ごとに作業して、できないお子さんには先生方が手伝ったりして、それをうまく下の学年に下らせるように、業者さんを入れなくてもできるように、ただ、学校間の異動だけは業者が入らないといけません、その学校内でのことにつきましては、まず小学6年生、中学3年生のお子さんが次の子どもたち用ということで中のデータを削除して使えるようにマニュアルを作っております。</p>
<p>委員</p>	<p>それはいいですね。職能短大さんとかでパソコンに関してお手伝いに来てくれるとか何かボランティアで手伝ってくれるということはないのでしょうか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>そういう相談はしていないので、もし機会があれば相談してみたいと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>来年度に向けて、学校現場の方でどれだけのニーズがあるのかということも確認しなければならないし、もし職能短大の学生たちがどれくらいの時間動けるのかということもあるし、当然アルバイトですので報酬の問題もあるので、その辺を詰めていかないといけないと思うのですが、もしニーズがあ</p>

<p>委員</p>	<p>るのだったら非常にそれは望ましい方向かなと思います。</p> <p>これは参考意見ということでお聞きください。</p> <p>実は、当社もパソコンのセキュリティの問題で非常に悩ましい問題をはらんでいます。最近個人情報云々という世界ではもうなくて、パソコンがあやしい動き方をした時点で対応しなくてはいけないということで、それについて報告義務が課せられているのです。</p> <p>その侵入経路からパソコンがどのようなもので感染したのかというようなことで、全部国に報告する義務が課せられるように個人情報保護法が変わったという話が出ていまして、これはある人からの話ですが、そのセキュリティを調査するのにワンクリック100万円だということです。パソコン一つ調べるのに、侵入したケースがあるとすれば100万円かかると思ってください。</p> <p>中小企業、零細企業、実は最近よく狙われているということで、大型企業の周辺の工場が狙われて、そのようなことが実際起きている例からも、ある意味脅しにも似たような話ではあるのですが、そういうことも実際に起きつつあるということです。セキュリティの問題も避けて通れないと思うのです。ですから、確かにボランティアの方々とか、そういった方々をお使いいただくのは結構なのですが、ある意味プロフェッショナルに任せなければいけないところはしっかりと任せるようにしないと、台数が台数ですのでセキュリティの問題がどうしても絡んできます。学校のセキュリティを守る、情報セキュリティを守るという意味でもそこはしっかりと押さえておくべきところではないのかなと私は危惧しております。</p>
<p>委員</p>	<p>今の委員のセキュリティということに関連して、また民間企業の話になるのですが、うちはサイバー攻撃に対する保険に入っています。よくニュースに出てきますが、パソコン感染して動かなくなって、それを動かすのに身代金要求されたということが起こると、なんだそれはという話になるのですが、やはり、身代金を払って早く復旧しないといけないのです。あと、実際に被害が起きたときの、例えば、我々で言う患者さん、そのクライアントに対する賠償に関する保険があって、それに入っているのです。</p> <p>教育委員会の中のそういうネットワークにもアタックがないとは言いきれないですし、それが止まったときや感染したときにどうするというのも考えていかなければいけないのかなと、委員のお話を伺って考えました。現状、いわゆるサイバー攻撃に対しての対策についてはどんな感じなのでしょう。</p>
<p>教育長</p>	<p>それは、教育委員会というよりは、市役所全体のところですよ。</p> <p>その専門の課がありますので、その課から情報を集めておいてください。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>今教育長からお話があったとおり、大館市の中には情報政策担当の係がありますので、そちらが一括して、教育委員会だけでなく大館市すべてのサー</p>

	<p>バーを管理しておりますので、そこで、この間の中国ではありませんが、あのような嫌がらせというのは、これからも起きてくるかもしれませんし、その対策は後で確認してみます。</p> <p>あと、付け加えて言わせていただければ、各学校のセキュリティに関して、学校のサーバーにはウイルス対策ソフト、それからセキュリティを強いておりますが、突破される可能性もないわけではないです。100パーセント守れるというわけではないので非常に怖いのですが、一番守らなければならない「校務支援システム」、すべての子どもたちの情報や学校の情報の中核と言われる部分に関しては、100パーセント大丈夫です。</p> <p>「校務支援システム」はネット環境に一切つないでおりませんので、完全独立しております。「校務支援システム」を導入したときに、それまで各先生方の机のパソコンからインターネットにつないで情報を得られていたのを、一切禁止して外しました。</p> <p>ですから、今学校の先生方の机の上にあるパソコンに関して言えば、全て「校務支援システム」につながっているものについては、100パーセント守られているということです。ただ、人間ですのでUSBで例えばウイルスに感染したものをに入れてしまうと、それは100と言えるかという微妙なのですが、ネット上での攻撃からは守られております。それだけのご報告しておきます。</p>
委員	<p>今、教育総務課長からお話いただいた、学校の先生たちの目の前のパソコンで「校務支援システム」を使っているからセキュリティのためネットにつなげないということについて、一部の先生からですが不便すぎるというお話がありました。</p> <p>僕もそういう話をたくさん聞いて気になっていたのですが、「校務支援システム」のBPA(ビジネス・プロセス・オートメーション)の中からでも、外のネットワークに直接つなぐのではなくて、「校務支援システム」の中のアプリで、そのブラウザを立ち上げていって、ある程度セキュリティを担保されたまま、ブラウザを立ち上げて見ることもできるようなのです。</p> <p>本当にセキュリティは非常に大切で、僕は今までセキュリティが大切だと言ってきたのですが、先生方の仕事としてのバランスとセキュリティ、非常に難しい問題だと思うのですが、考えていただきたいと思います。</p>
教育総務課長	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>そのことに関しても、当然導入時はものすごい抵抗もありましたし、さんざん悩んだ末の結論だったわけなのですが、実際、委員が言われたとおり、論理的分離ができることは我々のパソコンもそうなのですが、仮想空間を使ってネットにつないで、だけれども、全庁のネットワークもあるわけで、それとまた別個に仮想空間を使ってインターネットをつなぐというやり方ももちろん我々も普段やっています。</p> <p>ただ、それを学校現場に持ち込むと、できる先生はいいのですができない先生はもう何が何だかわからないということになって、たぶん今我々事務の</p>

<p>教育長</p>	<p>人間でも最初すごく大変な思いしてようやく今は慣れましたが、それを学校現場に持ってきたら大混乱が起きるとというのがわかったものですから、それをあえて避けて、いっそのこと切り離して、物理的に切り離してしまえば担保できるということで、その代わり代替案としまして、各学校にリプレイスしたノートパソコンが100台以上ありましたので、それを各学校にインターネット用パソコンということで配付いたしました。</p> <p>現段階では、学校の人数によって振り分けていますので、第一中であれば、ネットをつなげるノートパソコンが常に10台以上職員室にあるような状態でそれを使ってくださいとお願いしたのが4年前です。</p> <p>先生は今でもそれをやっておられるのでしょうかけれども、自分の机にそのパソコン持ってこなければならなくてひと手間かかるので、実際には自分のスマホで調べたりとかしているのが現状だという話も伺っております。</p> <p>その上で、分離がもっと簡単にできてなおかつ安全なものが出れば、考えてもいいのかなと思っておりますが、現段階では完全分離が一番安全ということで行っております。</p> <p>悩ましいですね。</p> <p>確かに、物理的に合わせるということは完全に安全ということですね。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>現在の「校務支援システム」は、令和2年度に出て、5年間のリースがいずれ切れるということであれば、今、秋田県全体で「総合型校務支援システム」、先生方が異動しても同じものが使えるものを県の方で進めておられて、ただ、まだ業者が決まっていなくて、今現在大館市で入れている業者と同じになるのか別の業者になるのか、同じ業者であれば使い方も同じなのですが、別の業者になると様式の変更といった可能性があるのですが、今現在入れている、県の方で例えば県が共同で決めた業者に大館市が入っていくとすると、そのときの入るための費用がどれくらいになるのかというのが、県の業者が決まってないのでまだわからない状況なのです。</p> <p>それが10月11月という話なので、その業者が決まれば、その業者とあと大館市が個別に契約というか、説明を聞いて大館市がその中に入っていくとすればどれくらい費用がかかるのかが出てくるので、その費用を見ながら次の方針、早くて令和7年度にその業者に切り替えになるのか、切り替えた場合の費用がどれくらいなのかちょっとわからないので何とも言えないのですが、費用対効果というか、それに入っていくとすると先ほど小笠原委員がおっしゃったネット環境にもつながる状態になります。</p> <p>分離ではなくて、そのセキュリティをしっかりと自分のパソコンを開いてネットにつないでネットから情報を取るという形になると思っていますので、皆さんに説明できる段階になったら、改めてご説明したいと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>そうすると、学校の先生方の、校務支援システムのインターフェースがまた変わる可能性がある。その触り方が変わる可能性があるってことも言える</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>のですね。</p> <p>そのとおりです。</p>
<p>委員</p>	<p>実は、この議論はすごく大事な議論なのです。あまり表立って出てこなかったのですが、先ほどのタブレットの問題から話が発生してきているわけですが、これは教育委員会だけの問題ではないですよ。市全体のネットワークとして、教育委員会だけでこなせる問題ではないですよ。</p> <p>市のネットワークの中に学校が一つ入っていくような形でやっぱり考えていかないと、そのような形でそのセキュリティをどうする、そのメンテナンスをどうするというふうな形で考えていかないといけない問題なのかなと私はそのような気がするのです。</p> <p>なので、教育委員会もさることながら、市全体として、もう逆に教育委員会はこういう問題が出ているのだと、先生方も含め解消するため、市全体として考えていかなければならないのだという問題があるということ、ことある会議の中で訴えただいて、全体のシステムの中の一つである教育委員会のシステムということをご提案ご提言、それから知恵を出していただけるといいのかなという気がします。</p> <p>この議論をしても、今日はもう結論出ないと思うのですが、今後の皆さまのお力添えをぜひともお願いしたいということで、私からお願いしたいと思っています。</p>
<p>教育長</p>	<p>ありがとうございました。これに関してのご質問等よろしいでしょうか。はい、それでは次をどうぞ。</p>
<p>教育研究所長</p>	<p>(「大館市立城南小学校ICTを活用した授業改善支援事業授業研究協議会」について口頭説明)</p>
<p>教育長</p>	<p>これについて、ご質問等よろしいでしょうか。それでは、次の報告をどうぞ。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>(「令和5年度20歳を祝う会収支報告について」口頭報告)</p>
<p>教育長</p>	<p>これについて、ご質問等よろしいですか。それでは、委員の方から紹介していただけてよろしいですか。</p>
<p>委員</p>	<p>皆さまのところに資料がありますが、これは、同じものが置いてある中学校にもあろうかと思いますが「朝日新聞ウィークリー」という学生用の新聞なのですが、これに八チ公の100歳のことについて記事がありました。その中で実際八チ公を見たという方のインタビューが添えられておりました。</p>

	<p>字が小さくて見づらいかと思うのですが、「Born in Odate, Akita Prefecture」というところがありまして、この英字で大館という地名が紹介される機会はまずめったにないことで、少し珍しいなと思って持ってまいりました。</p> <p>この中でちょっと面白いことが紹介されていて、写真の中の方はもう96歳になる方らしいのですが、当時小学2年生で八チ公を遠巻きに電車から眺めたということでこの記事が書かれております。写真の左側の方に</p> <p>「Hachiko looked to the right of the road, and then to the left, to check for cars before crossing the street.」</p> <p>とありまして、八チ公が道路を渡る前に右を見て左を見ていたと。偶然かどうかわかりませんが、日本の交通事情をすっかりわかって、「右を見て左を見ている賢い犬だったということに非常に私は感銘を受けた」という記事が記載されていたので、ちょっと面白いなと思ってご紹介させていただきました。時間のある方は、Googleの[翻訳]で写真撮ると全部訳が出来ますので、ぜひ訳していただいて、非常に面白いことが書かれていますので、お読みになっていただけるといいなと思いました。</p> <p>これは、ネット上の朝日新聞の無料サイトにこの記事の本文が出ています。この本文の最後に、今回の「HACHIフェス」の紹介もありまして、全国的にも世界的にもこのようなことで発信したいという新聞社の思いもあるようでしたので、これからいろいろなイベントも開かれます。参考になるかなと思ってご紹介させていただきました。</p>
教育長	ありがとうございます。
	ほかにございませんか。よろしいですか。
教育総務課長	(「来月の開催日程」について)
教育長	委員の皆さまからご発言ございませんか。
	それでは、以上を持ちまして、教育委員会会議を終了いたします。
会議終了時刻 午後4時30分	